

【 能美市内の地域福祉委員会活動の工夫 】

◆地域福祉委員会の開催を3密にならないように工夫されています。

まずは、コロナ対策！

地域福祉委員会を工夫して開催

3密にならないように、窓を開けています

松が岡地域福祉委員会

寺井町九谷町地区福祉委員会

間隔をあけて座っています

6

◆いきいきサロン開催の工夫（事例1）

《事例①》

徳久町ではいきいきサロン再開に向けて・・・

町会長

サロンの再開を待ち遠しく思われている声もあるが、本当に再開して大丈夫だろうか

サロンを再開しようと思うが、参加者からは、まだ不安だとの声も聞かれる

再開に向けてどのようなことに配慮が必要だろうか・・・

8

“つどいの場は大切”との思いから、活動内容や会場の3密を避けることなどの配慮をしながら、徳久町いきいきサロン再開へ

挨拶をする徳久町会長

玄関入口にて感染予防対策として周知用チラシの掲示・体温計・アルコール消毒を設置

9

皆で学び、注意し、声をかけ合うことが大切です

徳久町いきいきサロンの様子

◆内容：新型コロナウイルス禍の状況下、自分たちの暮らしの中でどのようなことに気をつけていくことが必要なのかを皆で考えていくことが大切と考え、市健康推進課の保健師による『新型コロナウイルス感染予防対策の出前講座』を実施。

10

サロン参加者の声

外に出る機会がなく、だんだん外へ出ることも億劫になっていた。いきいきサロンが再開され、皆の顔が見れて嬉しかった。

町会長

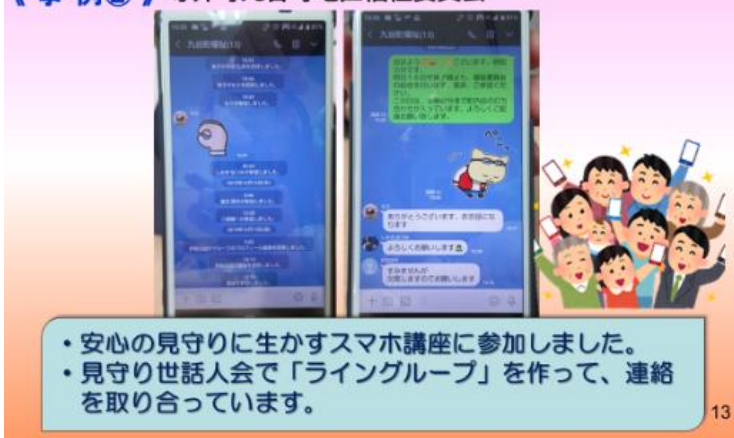
・再開にあたり、いろいろな不安はあったが参加者の皆さんは心待ちにされ、久しぶりに顔を合わすことができ安心した。“つながりの場”は大切である為、今後も状況に応じ、工夫しながら開催につなげていきたい。

11

◆スタッフ同士の情報共有の工夫（事例2）

③スタッフ同士が悩みや情報を共有し、連携します

【事例2】寺井町九谷町地区福祉委員会



- ・安心の見守りに生かすスマホ講座に参加しました。
- ・見守り世話人会で「ライングループ」を作って、連絡を取り合っています。

13

地域福祉委員会やいきいきサロン活動が、再開できず集まらないという期間、携帯電話の「ラインアプリ」を活用し、見守りに関わる方々が、気になる方の安否確認の情報を共有されていました。

集まることが困難になったからこそ見えた、新しい形でのつながり方の工夫です。

◆見守り活動の工夫（事例3）

④絵手紙等を活用し、見守り活動につなげます

【事例3】

泉台町いきいきサロン



14

★左側は、いきいきサロンが再開できない期間、サロン参加者の元気な様子を知らせようと、パッチワークや絵手紙の制作、野菜などを育てている写真を掲載した「お便り」を世話役が作成し、訪問配付されました。

他にも葉書に、クロスワードの数字版“ナンプレ”ゲームを印刷し、脳トレの材料を提供するなど、手作りのあたたかい工夫がされています。

★右側は、ふれあい弁当が中止の間、利用者へ、ボランティアの方が作成した絵手紙を配り、安否確認をしました。

つながり、支え合っていくことが大切



今回の新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域の皆さんが不安を感じながら生活をしている状況です。

これまでの生活を取り戻すには、まだまだ時間がかかるかもしれません。

でも“コロナに負けない”ではなく、“コロナとうまく付き合っていく”という思いを持ち、これを機に「新しいつながり方」としての工夫や配慮を考えましょう。

